



# すぎ七

杉並区立杉並第七小学校

校長 齋藤 瑞穂

TEL 3392-6328

FAX 3393-7536

平成30年11月1日 No.494

## 走りぬく力

校長 齋藤 瑞穂

10月16日、杉並区立小学校第二分区連合運動会が行われました。杉並第一小、杉並第二小、西田小、東田小、桃井第二小と杉七小の6年生が一堂に会し、杉並第二小学校の広い校庭で、日頃鍛えた力を発揮し、競い合いました。100m走と綱引き、長縄跳びは全員が出場、800m走と4周リレーは代表選手種目でした。

6年生は、杉七小の運動会が終わってホッとする間もなく、すぐにこの会に向けて練習を始めました。阿佐ヶ谷中学校の高津副校長先生から走り方について教えていただいたり、他学年や専科の先生方と一緒に毎日朝練習に励んだり、真剣に取り組みました。特に長縄跳びは、練習を始めたころに比べ格段に回数を伸ばし、学級の団結力も日に日に高まっている感じが感じられました。

とは言え、実際の競技となると、数に勝る他校に敵わない現実もありました。杉七小ではトップタイムの選手たちが、他校の多人数から選りすぐられたメンバーに敗れる様は、本人たちはもとより、応援していた子供たちにとっても大きな衝撃だったことでしょう。しかし、誰一人力を抜くことなく、最後まで全力を出しきったこと、そして多くが自己ベスト記録を更新したことは、勝敗以上に価値のあることでした。

杉七小の代表として、立派な姿を見せてくれた6年生に心から拍手を送ります。

ベストを尽くして頑張っている子供たちの



姿を見ながら、私は遙か昔に観た『炎のランナー』という映画を思い出しました。1924年パリ五輪の陸上競技で活躍した二人の英国人を主人公にした物語で、ヴァンゲリスの印象的なテーマ曲とともに記憶されている方も多いのではないのでしょうか。大方の内容はあやふやになってしまったのですが、忘れられない言葉があります。主人公の一人が競技会に集った人々を前に語った短い言葉です。

「走りぬく力はどこから来るのでしょうか？—自分自身、あなた自身の内からです。」

劇場で鑑賞していた中学生の私は、この一言に大変感銘を受けました。走りぬく力の源は、日々の練習、友人の励まし、家族の支え、神の見えざる力…そんな言葉を想像していたからです。もちろん、それらを主人公が否定しているというのではなく、それらから得る力の大きさをもってしても、自らの内から湧き上がる強い意志がなければ、走りぬくこと(=困難に向き合い打ち克つこと)はできないのだという意味だと思います。

まずは自分の内なる力、それを鍛え、信じること。それに気付かされた一言でした。

さて、杉七小では11月9・10日、学習発表会を行います。子供たち一人一人が課題と向き合い、工夫して作り上げた作品を展示します。きっと作成の途中には、難しかったりやっかいたりして、投げ出したくなることもあったでしょう。子供たちには、そうした困難と向き合えた自分、そしてやりぬいた自分の「内なる力」に自信をもってほしいと思います。皆様、どうぞお誘い合わせの上、そんな子供たちの力作をご覧にいらしてください。